

## 令和5年第2回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	4	芦 葉 弘 志	1 子育て支援に関わる、子ども医療費について	<p>本年4月1日に、こども家庭庁も発足し、国の公式ホームページには、「こどもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るためのこども政策に強力なリーダーシップをもって取り組みます。」となっている。</p> <p>又、子ども・子育て支援法では、子どもの定義は、「18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者」とされている。</p> <p>(1) 埼玉県下における子ども医療費の現状を伺う。</p> <p>(2) 幸手市における入院を15歳から18歳に引き上げた場合の予算額について伺う。</p> <p>(3) 幸手市における通院を15歳から18歳に引き上げた場合の予算額について伺う。</p> <p>(4) 通院、入院共に15歳から18歳に引き上げた場合の予算額について伺う。</p> <p>(5) 通院、入院共に15歳から18歳に引き上げた場合の財政面以外での障害になるものがあるかについて伺う。</p> <p>(6) 幸手市としてどのくらいの時期を目標に、通院、入院共に15歳から18歳に引き上げたいとお考えか、または全く考えていないか、市としての考えを伺う。</p>

			<p>2 交通難民をなくす施策について</p>	<p>第2次幸手市都市計画マスタープランには、2公共交通 ③「民間や近隣自治体の公共交通と連携し、市内の交通網の形成に努め、公共施設へのアクセスの強化や、公共交通空白地域における交通の利便性の向上を図ります。」とある。宮代町では、宮代町高齢者等タクシー助成事業（以下高齢者等タクシー助成事業とする）があり、助成内容は、75歳以上で、300円のタクシー料金助成券を交付（申請の月から月4枚で、年間最大48枚）となっていて、1回の利用で2枚（600円分）利用可能となっている。</p> <p>(1) 宮代町と同じようなタクシー助成制度のある県内の市町村はあるのかを伺う。</p> <p>(2) 幸手市が「高齢者等タクシー助成事業」を行った場合の年間予算額について伺う。</p> <p>(3) 幸手市が「高齢者等タクシー助成事業」を行った場合の費用対効果について伺う。</p> <p>(4) 幸手市が「高齢者等タクシー助成事業」を行った場合のメリットとデメリットについて伺う。</p> <p>(5) 幸手市の運転免許証自主返納者支援事業は継続的に行っていくと思うが、これに代わる事業として市として新しい取り組み等のお考えを伺う。</p> <p>(6) 以前、民間のバス会社が東鷲宮駅から香日向地域に運行していたが、コロナ禍や利用者減数に伴い廃止となっている。住民からは、東鷲宮駅から幸手駅のバスの運行を強く望む声がある。そこで、杉</p>
--	--	--	-------------------------	--

			<p>3 AEDの屋外設置について</p> <p>4 自転車ヘルメット努力義務化について</p>	<p>戸町と同じように久喜市の市内バスを幸手市民が利用できる方策はあるのか伺う。</p> <p>(7) 民間バス会社又は、市内循環バス乗り継ぎで、東鷲宮駅へのルートを検討があるのか伺う。</p> <p>(8) 現在、幸手市から民間バス会社への補助金や助成金などは出しているのか伺う。</p> <p>幸手市内では、小学校、各公共施設、コンビニエンスストアにAEDが設置されている。休日の学校では各種スポーツクラブ、スポーツ少年団が多く利用している。</p> <p>(1) 各小学校に2つあるAEDのどちらかを屋外設置できないかを伺う。</p> <p>(2) それに関わる予算を伺う。</p> <p>(3) 屋外設置が実現した場合、いつ頃のタイミングで設置が可能かを伺う。</p> <p>本年4月1日から、自転車に乗る人はヘルメットの着用が努力義務化された。都内などは、自転車用ヘルメットに対して、補助金が支給されている。</p> <p>(1) 埼玉県下の市町村における自転車用ヘルメット補助金の現状を伺う。</p>
--	--	--	--	--

				<p>(2) 幸手市における自転車用ヘルメット補助金を支給した場合の予算額について伺う。</p> <p>(3) 幸手市における自転車用ヘルメット補助金を支給した場合の一人当たりの適正な補助金額について伺う。</p> <p>(4) 幸手市における自転車用ヘルメット補助金を支給した場合の財政面以外での障害になるものがあるかについて伺う。</p> <p>(5) 幸手市における自転車用ヘルメット補助金を提供していきたいとお考えか、または全く考えていないか市としての考えを伺う。</p>
2	6	坂本達夫	<p>1 中川崎、下川崎の道路事情について</p> <p>2 市役所入口交差点、右折禁止解除の進捗状況と市の方針について</p> <p>3 幸手駅西口の道路整備、駐輪場整備とにぎわいづくりについて</p>	<p>(1) 市長は、狭く危険な道路事情を確認しているのか伺う。</p> <p>(2) 狭く危険な道路に対し、どんな解決策があるのか市長に伺う。</p> <p>(3) 大型車の通行規制はできるのか。規制の可能性を市長に伺う。</p> <p>(1) 市と警察の協議内容（交通解析結果、右折禁止解除の可能性、交差点改良、実証実験等）を副市長に伺う。</p> <p>(2) 右折禁止解除に向けた市の方針・結論を市長に伺う。</p> <p>(1) 西口停車場線が、直線となり、整備される時期を伺う。</p> <p>(2) 幸手久喜線から都市計画道路を經由して駅西口に向かう道路の整備時期を伺う。</p>

			<p>4 幸手駅に設置したピアノについて</p> <p>5 木村純夫市長の任期満了について</p>	<p>(3) さいたま幸手線（御成街道）から都市計画道路を經由して駅西口に向かう道路の整備時期を伺う。</p> <p>(4) 駐輪場の一部に屋根を設ける事業の実施時期を伺う。</p> <p>(1) 再度のピアノ設置時期は、いつになるのか市長に伺う。</p> <p>(2) ピアノ演奏の制約を少なくすべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) ピアノ設置の所管は教育委員会とすべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 木村市長の市政運営の評価を市長に伺う。</p> <p>(2) 次期市長選挙への決意を市長に伺う。</p>
3	13	藤 沼 貢	<p>1 人口減少問題について</p> <p>2 幸手駅西口のまちづくりについて</p> <p>3 施設園芸トレーニングセンターについて</p>	<p>(1) 人口減少の現状をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 人口減少対策にどう取り組まれるのか伺う。</p> <p>(1) 駅西口のまちづくりの現状の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 今後の取り組みについて。</p> <p>(1) この施設の事業内容について伺う。</p>

4	3	宮澤大地	<p>1 幸手市の交通安全意識について</p> <p>2 幸手市の防犯対策について</p>	<p>近年、交通事故による報道が取り沙汰されております。幸手市にとっても他人事ではなく、幸手市民の「足」の大部分は自動車となっております。日頃からの交通安全に対する意識が大切であり、幸手市としても事故が起こらないよう道路が老朽化していないか等、十分に対処する必要があります。</p> <p>(1) 幸手市として道路の交通量データは持っているのか伺う。</p> <p>(2) 幸手市として道路の管理状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 道路は市道・県道・国道と繋がっており、各道路の定期点検状況も含めて現状を伺う。</p> <p>(4) 市民からの情報提供などを円滑にするためのホットラインの必要性を感じているか伺う。</p> <p>(5) 危険な道路への対処について、実際、管理状態として芳しくない道路が見受けられる。例えば東地区のスーパーオオタニ前の白線・黄線などが消えかかっており、大変危険な状態である。また街路樹や植え込みの植物が伸び、視界を遮っている道路もある。幸手市はこういった危険を取り除いていく考えはあるか伺う。</p> <p>強盗団・窃盗団が世間を賑わせています。先日、幸手市内でも一戸建て住宅への侵入事件がありました。幸手市民、特に子育て世代や高齢者だけの世帯は不安を感じられている意見も実際、耳にしました。市民の防犯意識の高まりを感じています。幸手市としての防犯対策の取り組みについて伺う。</p>
---	---	------	---	---

			<p>3 幸手市を特集した「出沒！アド街ック天国」放送内容について</p>	<p>(1) 幸手市が管理している防犯設備（防犯カメラなど）の設置場所・設置数はどのくらいなのか伺う。</p> <p>(2) 幸手市だけの防犯設備では死角が生まれ、まち全体をフォローできないと考えます。幸手市として民間の防犯対策への補助・サポートなどの取り組みはしているのか伺う。</p> <p>(3) またそういった事例を扱う行政区はあるのか伺う。</p> <p>(4) まち全体で防犯設備を増やしていく取り組みを民間にもご協力をいただき、官民一体となって防犯に取り組むことは考えているのか伺う。</p> <p>(5) 防犯カメラやセンサーライト、モニター付きインターフォン設置を推進し、必要があれば幸手市や警察が防犯カメラ映像などの情報の提供を求めることができる。特に防犯カメラは犯罪の記録だけではなく、犯罪の抑止・見守りに寄与します。「防犯のデジタル化」によってまちの治安を守る取り組みが今後非常に大切になると考えるがいかがか伺う。</p> <p>本年3月に放送された「出沒！アド街ック天国」の放送にて、幸手市は「何かとワースト1位」のまちである、と紹介されてしまいました。中でも「消滅可能性都市・幸手」と紹介され「幸手は無くなってしまっているのではないか」と、不安を覚えた市民も多かったかと思えます。</p> <p>(1) 幸手市として「出沒！アド街ック天国」の放送内容について事前に把握していたのか伺う。</p>
--	--	--	---------------------------------------	---

				<p>(2) 「消滅可能性都市・幸手」の情報を含め、「何かとワースト1位」の情報はそもそも正しいのか伺う。</p> <p>(3) 「何かとワースト1位」情報の払拭・脱却について、市民が不安を覚えないよう、幸手市としてのまち発展の好材料があれば積極的に情報発信をしていくべきだと考えます。情報を発信しないでいると「幸手市は何もしていないまち」と印象付けられてしまうが見解を伺う。</p>
5	15	大平泰二	1 市民生活を支える市内循環バス問題	<p>以下の内容について市長に伺う。</p> <p>(1) 市内循環バス往路復路の設置について。</p> <p>(2) 市内医療機関数(29)とバス停設置数(123)の検討結果について。</p> <p>(3) この間の医療機関との協議の結果について。</p> <p>(4) 香日向から東鷲宮駅までのバス路線を市内循環バス路線に組み入れることについて。また東鷲宮駅から香日向地内最寄りのバス停までの距離について。</p> <p>(5) 朝日バス運営の杉戸高野台駅から幸手駅までのバス路線廃止に伴う実態調査について。</p> <p>(6) 廃止にともなう住民説明会の開催について。</p> <p>(7) 廃止にともなう同路線に市内循環バスを適用することについて。</p>

			<p>2 水道・下水道還付・充当の不備問題</p> <p>3 駅西口土地区画整理問題</p> <p>4 通学路の横断歩道橋の安全性について</p>	<p>(8) 循環バスの利用者を増やす対策と公共機関の役割について。</p> <p>(1) 報告では、還付・充当の処理がされていない事案は令和4年度分であり、その件数は110件とあるが、それぞれの事案の日時について伺う。</p> <p>(2) 「事務処理の引継ぎが十分ではなかったことに起因する」としているが、どこの判断か。また引き継ぎが行われなかった原因について職場環境も含めた調査を行ったか伺う。</p> <p>(3) 顛末書の内容について（資料提出）</p> <p>(4) 事業者の処分について伺う。</p> <p>(1) 事業費内訳（令和5年第1回定例会提出）による各事業費の決算額と事業の進捗率について（資料提出）</p> <p>(2) それぞれの決算額に関するそれぞれの事業の進捗率で除した金額について。及びその合計額について伺う。</p> <p>(3) 区画整理の財政計画見直しについて市長に伺う。</p> <p>(4) 令和4年度繰越明許で、一般財源より未収入特定財源が多い原因について伺う。</p> <p>(1) 市内通学路にある横断歩道橋の竣工日、及びメンテナンス状況について伺う。</p>
--	--	--	---	---

			5 若者が集える街づくりについて	(2) 鉄骨構造物の錆の浸透検査、及び耐用年数と耐震計算について伺う。  (1) スケートパークを市内につくることについて市の考えを伺う。
6	2	小 泉 圭 司	1 幸手市の公共交通について  2 “とねっと”の事業終了について	(1) 朝日バスが幸手駅—杉戸高野台駅線の廃線を発表されましたが、これまでの幸手市地域公共交通会議での経緯と今後の対応について伺う。  (2) 幸手市全体の公共交通のあり方について伺う。  (3) 周辺地域の公共交通の状況の把握と今後の連携について伺う。  (1) とねっとの65歳以上の方の利用率について伺う。  (2) 医療資源の少ない利根医療圏において医療連携は不可欠なものです。“とねっと”が終了するのであればそれに代わる手段はどのように考えているのか伺う。  (3) 今まで蓄積されてきた貴重な医療データは活用することは出来ないのか伺う。  (4) “とねっと”の周知方法は適切であったのか。同様に現在、医師会で開催していただいている先進的な「暮らしの保健室」の周知についての考え方を伺う。

			<p>3 小学校の統廃合計画について</p> <p>4 市内の慢性的な渋滞の解消による安全確保について</p> <p>5 水害対策の資産の垂直避難について</p> <p>6 民間との協働の在り方について</p>	<p>(1) 小学校の統廃合の検討が進められているが、その目的について伺う。</p> <p>(2) 将来的な宅地開発などを見越したうえで協議がなされているのか伺う。</p> <p>(3) 協議を進めるにあたり地域住民や保護者の方々からのご意見を聞く機会があるのか伺う。</p> <p>(4) 小学校は勉強する場所だけでなく地域コミュニティや防災の拠点としての位置づけもある。廃止という前提ではなく多目的な活用による存続利用について検討されているのか伺う。</p> <p>(1) 国道四号線の市役所入口交差点の右折禁止解除は重要であるが、まずは荒宿交差点の渋滞緩和の為に荒宿交差点の信号を時差式にできないのか伺う。</p> <p>(1) 幸手市で災害の危険が最も高い水害対策として、垂直避難が必要だが多くの市民が所有する資産である自動車の垂直避難をする場所が少ない。立体駐車場を所有する企業と防災協定を締結して避難指示の際に使用させていただくことが出来ないか伺う。</p> <p>(2) また垂直避難が出来る立体駐車場を、病院や量販店に防災拠点として国や県から予算を受けて設置できないか考え方を伺う。</p> <p>(1) 市民サービスを行政だけが行うのではなく、既に市民サービスを行っている事業者や、新たな市民サービスを事業者に促し、市は協働という形で広報活動の支援を行い市民サービスを充実させるとい</p>
--	--	--	---	--

				う協働の在り方についての考え方を伺う。
7	1	高野優一	<p>1 健全な財政運営について</p> <p>2 ふるさと納税による寄附の拡大について</p> <p>3 地域農業の推進について</p>	<p>(1) 幸手市の自主財源の確保を図るために事業の選択と徹底した無駄の排除によりどのような成果を得たのか市長に伺う。</p> <p>(1) ふるさと納税の寄附額の目標設定はあるのか伺う。</p> <p>(2) 厳しい財政状況からの突破口としてふるさと納税を大いに活用すべきと考えており、寄附額の更なる拡大に向けた取り組みを伺う。</p> <p>(1) 学校給食への幸手産農作物の地産地消の状況を伺う。</p> <p>(2) 幸手産農作物の販路拡充の状況を伺う。</p> <p>(3) 幸手産米のPR活動や付加価値の高い農作物や加工品の研究開発支援の現状及び具体的な成果を伺う。</p>
8	1 2	本田謡子	<p>1 選挙公報について</p> <p>2 公共施設における自動販売機設置について</p>	<p>(1) 選挙公報の配布の仕方について伺う。</p> <p>(2) 選挙人数と選挙公報の新聞折り込み件数、発行数等を伺う。</p> <p>(3) 現在の問題点と今後の市の対策を伺う。</p> <p>(1) 老人福祉センターにおいて、自動販売機が撤去されたことについて、その経過を伺う。</p> <p>(2) 市として公共施設から自動販売機が撤去されることについて、不都合はないのか見解を伺う。</p>

				(3) 今後の市の対策を伺う。
9	1 1	小河原浩和	1 駅ピアノの早期実現について	(1) 桜まつりに試験的に実施した駅ピアノの成果や市民等の反応について伺う。 (2) 実施上の課題にはどのようなことがあげられるのか伺う。 (3) 試行の総括は、どのような機関(部長会議等)でいつ頃実施し、どのようにまとめたのかを伺う。 (4) 実施の制度設計は、いつ頃完成するのかなど、実施までの今後の計画を伺う。 (5) 幸手市の魅力発信にもつながると思うが、実現に向けて市長の決意を伺う。
			2 移動販売車の必要性の高まりについて	(1) 民間のバス路線の廃止対策や復活の見通しについて伺う。 (2) 市内の高齢者家族の地区ごとの実数を伺う。 (3) 移動販売車導入について、問題点の解消・解決に向けて市内での議論はどのようにされたのかを伺う。 (4) 買い物弱者の現状認識を市長に伺う。 (5) 市民の暮らしやすい街づくりのためにも移動販売の必要性が高まっているが、実現に向けて幸手市としての考えを伺う。

			3 地域猫の現状や今後について	<p>(1) 地域猫とはどのようなものなのか。</p> <p>(2) 現在幸手市で活動をされている方はどれくらいおられるのか。</p> <p>(3) 近隣自治体での活動状況(先進事例)はどうなっているのか。</p> <p>(4) 今後幸手市の活動促進の方策をどのように考えているのか。</p>
10	5	四本奈緒美	1 がん対策について	<p>政府は今後6年間の国のがん対策の方向性を示した「第4期がん対策推進基本計画」を3月に閣議決定した。全体目標として「誰1人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げ、検診受診を6割への向上などを盛り込んだ。</p> <p>(1) 基本計画には、がん検診の受診率の目標を5割から6割に引き上げることが明記された。本市のコロナ禍での受診率の推移の状況と、今年度の目標と受診率向上への取り組みを伺う。</p> <p>(2) 第4期基本計画のポイントの1つには、がんの「予防」に今までより力点が置かれている。避けられるがんの予防は重要である。本市における避けられるがんの予防として、子宮頸がんの対策と取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 子宮頸がんを予防するHPVワクチン接種の定期接種対象者は小学6年生から高校1年生の女子となっている。ワクチン接種により唯一がんが予防できるHPVワクチン接種を正しく理解する為の教育が、小学校低学年から必要と考えるがいかがかを伺う。</p>

			<p>2 自主防災組織のSMSを活用した情報の一斉送信システムへの補助金について</p>	<p>(4) 脱毛や乳房切除など、がん治療による外見の変化に悩む患者の方の就労や社会参加を応援し、療養生活の質がより良いものになる様に、医療用ウィッグや乳房補正具などの購入費用の一部助成をするアピランスサポートが必要と考えるが市の見解を伺う。</p> <p>(5) 介護保険が適用されない20歳から39歳までの末期がん患者が、自宅で終末期を過ごす際の介護サービス利用料や、福祉用具の貸与・購入費を助成する若年者の在宅ターミナルケア支援事業に早急に取り組むべきと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>(6) がん患者の方に寄り添った幸手市の具体的ながん施策について市長に伺う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の「感染症法」上の位置づけが「2類」から「5類」に移行となり、自治会の自主防災組織による地域防災活動がコロナ禍を経て新たな活動を始めている。</p> <p>(1) 幸手市の自主防災組織活動への補助金の内容を伺う。</p> <p>(2) 多くの自主防災組織での一番の課題は、緊急連絡方法である。今までの連絡方法は班長が班内の1軒づつに電話か訪問等で連絡をしていたが、この方法は現状にはそぐわない。民間のSMS一斉配信システムを活用すると、例えば東武団地自治会自主防災組織であれば、自治会長のパソコンから700人の班員の携帯電話へショートメールでメッセージを一斉送信出来る。これは、自主防災組織の先進地と言われている茨城県常総市の根新田地区が採用しているシステムである。このSMS一斉送信システムの費用を自主防災組織活動の補助金の対象にするべきであると考えが市の見解を伺う。</p>
--	--	--	--	---

			<p>3 朝日バスの運行廃止と今後の公共交通について</p>	<p>朝日バス「幸手駅～幸手団地～杉戸高野台駅線」が本年12月31日の運行終了をもって廃止されることが5月9日に発表された。突然の発表に地域住民は困惑をしている。</p> <p>(1) 運行廃止が5月9日に発表されるに至る経緯を伺う。</p> <p>(2) 市民の生活の足としてのバス路線の維持確保を、市内循環バスも含めて今後どのようにしていくのかを伺う。</p> <p>(3) 埼玉県では地域公共交通の活性化の促進のために、今年度、「1. 地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク事業、2. バス路線維持対策費」として1億3,243万3千円の予算を組んでいる。これらを活用して幸手市の高齢者をはじめ地域住民の移動手段の確保・充実を図り、地域公共交通の活性化をするべきと考えるが市の見解を伺う。</p>
<p>1 1</p>	<p>1 4</p>	<p>青 木 章</p>	<p>1 ゆめファーム全農について</p> <p>2 天神の湯等の対応について</p>	<p>(1) 事業概要について</p> <p>(2) 地権者に対する説明会について</p> <p>(3) 進捗状況と今後について</p> <p>(1) コロナ渦休館から現在までの経緯について</p> <p>(2) 令和5年第1回定例会の結果に対する市長の認識について</p> <p>(3) 令和5年第1回定例会以降の対応について</p>

			3 市長公約について	<p>(1) 市長公約の主な内容と、その進捗状況について</p> <p>(2) 任期中での公約達成見込みについて</p> <p>(3) 公約未達成項目とその理由について</p>
12	7	小林英雄	<p>1 安心安全なまちづくり（交通安全対策）について</p> <p>2 安心安全なまちづくり（防犯のまちづくり）について</p> <p>3 市道の整備と維持管理について</p>	<p>(1) 令和5年3月現在の幸手署管内の人身事故件数40件前年比3件の増、物件事数件数は398件前年比12件の増となっておりますが、事故発生場所の分布状況、発生が頻発する場所、特徴など市としてどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 未解決の件数も、目撃情報を求めたケースも数あると聞きます。防犯カメラがこのようなケースを軽減させることができると考えますが、市としての考えを伺う。</p> <p>(1) 防犯ボランティアの活動状況について伺う。</p> <p>(2) 登下校時の子供の見守りや付き添いの状況について伺う。</p> <p>(3) 「青パト」の活動状況について伺う。</p> <p>(4) 「ながら見守り」の重要性と実践について伺う。</p> <p>(1) 市道の総延長、そのうち主要幹線道路など幅員や機能別の延長について伺う。</p> <p>(2) 都市計画道路の整備状況について伺う。</p>

				<p>(3) 長寿命化計画における維持管理方法について伺う。</p> <p>(4) 道路整備の優先順位の考え方について伺う。(交通量・幹線道路・災害の優先性など)</p> <p>(5) 修繕の優先順位の考え方について伺う。(交通量・幹線道路・災害の優先性など)</p>
13	10	松田雅代	<p>1 利便性の高い公共交通の推進について</p> <p>2 連携協定等対外連携の確実な更新について</p>	<p>(1) 地域公共交通計画について、策定の意義・目的、地域公共交通会議で検討すべきことを伺う。</p> <p>(2) この計画の計画区域、計画期間を伺う。</p> <p>(3) この計画の地域旅客運送サービスの全体ビジョン、幸手市で対象として考えられる交通サービス、地域の輸送資源を伺う。</p> <p>(4) この計画においてコンパクトシティ、観光、環境等のまちづくり施策との一体的推進の考え方を伺う。</p> <p>(5) 現在、市民及び地域・団体等から市に提出されている公共交通に関する要望等があれば伺う。</p> <p>(6) 今後の計画策定スケジュールを伺う。</p> <p>(1) 政策課が所管する行政・民間団体等との連携協定の確実な更新、今年度深化させる取り組みを伺う。</p>

			3 クールスポットの設置について	<p>(2) 危機管理防災課が所管する災害協定は確実に更新されているか伺う。</p> <p>(3) 今後の現在協定を結ぶ団体等との連携の強化、新たな連携先の検討・研究はされているか伺う。</p> <p>(1) 大手電力7社が6月の使用分から電気料金の値上げを実施する見通しで、各社の平均で15%から39%の値上げ幅となるとの報道がある。それに伴い、今夏は家庭の電気料金を抑えるため、クーラーの使用を控える、水分不足による脱水症状など、特に乳幼児や高齢者の在宅での熱中症が気になるところである。クールスポットの設置や暑熱対策の啓発など市の対応を伺う。</p> <p>(2) 近年、7月、8月の救急搬送件数が増えている。要因、受け入れ態勢等について医師会と市で連携・協議している事項があれば伺う。</p>
14	9	木村治夫	<p>1 空き家バンク実施事業について</p> <p>2 地域農業の振興について</p>	<p>(1) 現在市内、空き家バンク対象戸数について伺います。</p> <p>(2) 市空き家バンク制度の活用状況について伺います。</p> <p>(3) 移住促進の課題と問題点に対し、市の対応・対策を実施しているのか伺います。</p> <p>(4) 中心市街地、空き店舗活用について、その成果と課題について伺います。</p> <p>(1) 農業振興地域整備計画を変更する年度であるが、その具体的内容について伺います。</p>

			<p>3 地域資源を活かした観光・地域振興について</p>	<p>(2) 農業センサスの成果と課題について、市の対応・対策等を伺います。</p> <p>(3) 全農による施設園芸トレーニングセンター誘致、対応・対策について市の具体的な見解を伺います。</p> <p>(1) 本年実施された第90回桜まつり実施状況について伺います。</p> <p>(2) 本市に来場された観光客数・車両数、また渋滞状況について伺います。</p> <p>(3) 実施後の経済収支状況について伺います。</p> <p>(4) 臨時停車駅設置、検討、鉄道事業者への対応等について市長の見解を伺います。</p> <p>(5) 保存会との協議、協定書の作成について、市長の見解を伺います。</p> <p>(6) 市として、地域振興・観光振興について具体的な活用・整備等対応策を伺います。</p> <p>(7) 市観光協会との連携対応等について伺います。</p>
--	--	--	-------------------------------	--